



医療法人社団 有相会

**特別号
Vol.33**

2017年4月発行
編集・発行 最成病院
☎043-258-1211
<http://www.saisei.or.jp>

最成病院
Tel.043-258-1211

介護老人保健施設 ゆうあい苑
Tel.047-480-2111

最成病院ヘルスケアセンター
Tel.043-257-8111

グループホームかしわい
Tel.047-480-2165

ゆうあい訪問看護ステーション
Tel.047-480-2132

最成病院 居宅介護支援室
Tel.047-480-2133

千葉市あんしんケアセンターにれの木台がオープン



住 所：千葉市花見川区朝日ヶ丘 2-1-7-2
電 話：043-445-8012 **FAX**：043-445-8013
業務時間：月～土曜日 9：00～17：00
(日曜日・祝日・年末年始を除く)
担当地域：朝日ヶ丘 1～3丁目、5丁目
西小中台、畑町、宮野木台 1丁目

平成29年4月1日より花見川区の「あんしんケアセンター(地域包括支援センター)」は6か所となりました。あんしんケアセンターとは、千葉市が民間の法人に業務委託をして運営している公的機関で、高齢者の皆さんの身近な相談窓口として主任ケアマネージャー、社会福祉士、保健師などがそれぞれの専門分野を活かし、互いに連携をとりながら総合的に皆さんを支えるところです。

私たち有相会もその中の1つである「あんしんケアセンターにれの木台」で新たにお手伝いさせていただくこととなりました。

「介護保険はどうしたら使えるの?」「家族の介護で困っているけど、どこに相談していいかわからない」など、高齢者に関する悩みや相談に対応します。

お住まいの町ごとに担当が分かれていますので、担当のあんしんケアセンターはどこか、ご確認ください。

あんしんケアセンターの主な業務

- 介護予防・ケアマネジメント業務
介護予防ケアプランの作成や、健康づくりへの取り組みを支援します。
- 総合相談支援業務
介護・福祉・保健・医療など、様々な相談に応じます。
- 権利擁護業務
虐待・悪質商法の被害防止や成年後見制度の利用支援をします。
- 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務
関係機関と連携し、皆さんが住みやすい地域づくりを支援します。

その他の地域などに関するお問い合わせ

千葉市保健福祉局 地域包括ケア推進課 ☎043-245-5168

平成29年4月4日より 最成病院は皮膚科診療を開始しました。



最成病院では変わりゆくニーズに対応するため新たに「皮膚科」を開設しました。最成病院は、これからも地域に根差した、安心、安全な医療を提供していきます。

【担当医師のご紹介】

- 午前診療：青山和弘先生(千葉大学医学部附属病院)
- 午後診療：松澤高光先生(千葉大学医学部附属病院)

● 皮膚科診療は毎週火曜日です。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 (9時～12時)	×	●	×	×	×	×	×
午後 (14時半～16時半)	×	●	×	×	×	×	×



看護部長就任のご挨拶



日頃は当院の医療、看護にご協力いただき誠にありがとうございます。

4月1日から最成病院看護部長に就任いたしました鴫田佳容子（ときたかよこ）です。最成病院に勤務してちょうど20年目の春を迎えます。大任を配するにあたり、前任の大上看護部長や師長をはじめ、スタッフの支え無くして今日の私はあり得ませんでした。心より感謝申し上げます。

最成病院は、急性期医療から慢性期医療、そして予防医療まで様々な分野で地域に根差した病院であります。各地で高齢社会化が進み、加えて人口比率でみたこどもの数は世界最小です。当地域も例外ではありません。保健医療体制は、すでに高齢社会対策にシフトされようとしています。毎年のように変わる制度は複雑化し、混沌とした様相を呈しているように思えます。こんな今だからこそ当看護部の理念である「安心して医療、療養が受けられる環境の提供をいたします」が重要であると思います。安全な技術の提供はもちろんですが、患者さんやご家族の安心した表情が伺えることが何よりも大事なことです。視線を合わせての笑顔。それはお互いの心が通じ合えた瞬間であり医療職として得られる特別なプレゼントだと思っています。この「お互いの心が通じ合う」とは、日ごろから職場の中で自然に浸透していないと実現はできないものです。「お互いの心が通じ合う」という職場風土は、あらゆる問題解決につながると信じています。この基盤を培い、育てていくことが私の使命だと思っています。

大勢のスタッフを抱える看護部をマネジメントすることは簡単なことではありませんが、看護部の理念を心に据え、誠実に一步一步向上していきたいと思えます。そして、各部門と積極的に関わり、協働していくことが患者さん中心の医療に繋がると考え取り組んでまいります。

どうぞよろしく願いいたします。